

日本天文学会 1981 年春季年会

プログラム

日 時 昭和56年5月11日(月)~15日(金) 午前9時~午後5時

場 所 東京大学理学部2号館講堂(赤門脇) 電話 03-812-2111 (大学)
〒113 東京都文京区本郷 7-3-1

午前	9時	10	11	12	午後	1	2	3	4	5	講演番号
5月11日 (月)	位置, 力学, 太陽系					太陽系, 太陽					1~46
5月12日 (火)	太陽, 恒星				評議員会	恒 星					47~91
5月13日 (水)	恒星, 高エネルギー				写 真	高エネルギー, 観測機器 情報処理		総 会	懇親会		92~126
5月14日 (木)	観測機器 情報処理				新旧合同 理事会	星間物質・星雲					127~172
5月15日 (金)	銀河系・恒星系					銀河・宇宙論					173~217

☆ 講演時間は一題について7分です。講演者は割当時間を厳守して下さい。

☆ スライドは透視した時に正しい上下左右関係になるようにして、その手前側上方に講演番号と氏名、映写順序番号を書き、下縁に5mm位の幅の赤線をつけて下さい。ピラは用いず、スライドは講演時間内に終了できる枚数にして下さい。オーバーヘッドプロジェクターも用意いたしますので希望の方は御利用下さい。

☆ 今回は講演開始が午前9時。講演終了が午後5時です。

☆ 12日の午前講演終了後より評議員会、13日午後の講演終了後(午後3時半ごろ)より総会(天体発見賞贈呈、諸報告、56年度予算、役員改選の件等について)、14日午前の講演終了後より新旧合同理事会を開催します。

☆ 記念写真撮影は13日午前の講演終了後行います。

☆ 懇親会は13日午後の講演終了後午後5時半より山上会議所において行われます。

第1日 5月11日 午前9時より

1. 高層気象資料から求めた大気差: 深谷力之助 (東京天文台)
2. 水沢 PZT 観測値の (O-C) と気象環境: 後藤常男 (緯度観測所)
3. 地球自転速度の 15 日周期変動: 関口直甫 (東京天文台)
4. 日本国内 VLBI 測地観測の模擬実験: 中嶋浩一 (東京天文台), 酒井 榊 (緯度観測所)
5. VLBI 観測と基準座標系: 真鍋盛二, 笹尾哲夫 (緯度観測所)
6. ILS 極運動データの長周期振動について: 岡本 功, 菊地直吉 (緯度観測所)
7. ロラン C 受信装置の遅延時間について: 堀合幸次, 相原 実, 藤下光身, 佐藤克久 (緯度観測所)
8. 前漢時代 (206 B.C.~A.D. 23) の星食観測: 斉藤国治 (日大文理)
9. 自動光電子午環 (II): 安田春雄 他, 子午線部 (東京天文台)
10. 自動光電子午環 (PMC 190) の観測精度 (II): 吉澤正則 (東京天文台)
11. 天王星の環による掩蔽の整約方法の改良: 相馬 充 (東大理)

(休憩)

12. 二小惑星問題: 堀 源一郎 (東大理)
13. 特異点解析による指数格子型の可積分系の導出: 吉田春夫 (東大理)
14. ヒペリオンの軌道改良 (1968 年の衝: 改訂): 畑中至純 (東京天文台)
15. 低緯度大気光 6300 Å 分布の狭い谷: 嵩地 厚, 宮下暁彦, 田鍋浩義 (東京天文台)
16. 月の海の成因 (大爆発による軌道修正): 田中義人 (東亜石油KK)
17. 月面の赤緑 2 色見掛波長比較反射率分布: 嶋坂敬郎 (京都外大), 熊谷直一 (明石短大)
18. Polarization データによる金星の雲とヘイズの解明: 川田剛之 (金沢工大)
19. 赤外波長での金星上層大気モデル: 向井苑生, 向井 正 (金沢工大)
20. 火星の北極冠の縮小と形状の季節変化: 岩崎恭輔, 斉藤良一 (花山天文台), 赤羽徳英 (飛騨天文台)
21. アポロ型ハンガリア群小惑星などの性質: 古在由秀 (東京天文台)

第1日 5月11日 午後1時15分より

22. 短周期彗星の増殖の分裂起源: 中村 士 (東京天文台)
23. 彗星核構成分子からの赤外ライン強度の推定: 山本哲生 (東大宇宙研)
24. コホーテク彗星 1973 VII の分光測光スキャン: 石井久司 (東大理), 山本哲生 (東大宇宙研), 田村眞一 (東大理)
25. 隕石落下の条件: 小笠原雅弘, 長谷川 均 (日本流星研究会)
26. 大気による流星速度の変化: 長沢 工 (東大地震研)
27. FM 観測で同定される流星の極限等級について: 鈴木和博 (豊川工高), 吉田孝次 (ミノルタカメラ)
28. 惑星大気中の第三次散乱光までの総括 (2): 佐藤隆夫 (長崎大学本部)
29. 径度依存性太陽風の新解法: 桜井健郎 (京大工)
30. 太陽風によるポインティング・ロバートソンの効果: 向井 正 (金沢工大)
31. 地球磁場に代表される定常ダイナモ磁場の磁極の反転について: 吉村宏和 (東大理)
32. 太陽風プラズマの密度勾配: 柿沼隆清, 小島正宜, 鷺見治一 (名大空電研)
33. 太陽風プラズマ中の磁気音波: 小島正宜, 鷺見治一, 柿沼隆清 (名大空電研)
34. VLBI 技術を用いた太陽風シンチレーションの観測: 小池国正, 高橋富士信, 熊谷 博, 磯崎 進, 大内長七 (電波研)
35. ヴィテンセ・モデルの対流モードに対する不安定性について: 近藤正明 (東大教養), 海野和二郎 (東大理), 中野 徹 (中大理工)
36. 磁気光学効果: 川上 肇 (東大理)

(休憩)

37. 黒点の net circular polarization の解釈: 牧田 貢, 西 恵三, 浜名茂男, 清水一郎, 大城義名 (東京天文台)
38. 磁場と大気変動の統一的取扱について: 中川好成 (相模工大)
39. Moustache のスペクトルの解析: 北井礼三郎 (京大理)

40. ケニア日食分光観測 (II): 入江 誠, 平山 淳 (東京天文台)
41. 活動領域上の $H\alpha$ 微細構造の速度場の観測: 黒河宏企, 船越康宏, 中井善寛, 服部 昭 (花山・飛驒天文台)
42. 太陽活動領域の偏光観測: 日江井栄二郎, 清水一郎 (東京天文台), 海野和三郎 (東大理), M. セメル (ムードン天文台)
43. 紅炎スペクトルにおける Na-D 輝線: 川口市郎 (京大理)
44. 太陽紅炎内部の Hot Material: 神野光男 (飛驒天文台), 西川 宝 (京大理), 久保田 諄 (花山天文台)
45. 紅炎における彩層コロナ遷移: 海野和三郎 (東大理)
46. サージ紅炎の EUV 輝線: 久保田 諄 (花山天文台), 北原達正, 當村一朗, 永安孝好 (京大理)

第 2 日 5 月 12 日 午前 9 時より

47. ジェット現象の数値流体力学 (3) スプレィ: 松元亮治, 柴田一成, 末松芳法 (京大理)
 48. マクロスピキュールの起源について: 柴田一成 (京大理)
 49. 太陽彩層ループ中の非定常運動: 末松芳法 (京大理)
 50. EUV 放射の Weakening の源: Cool Cloud: 西川 宝 (京大理)
 51. 大口径アンテナによるミリ波帯太陽電波の観測 (II)——ミリ波・マイクロ波バーストの同時観測——熊谷 博, 大部弘次, 磯辺 武, 大内栄治, 西野徳男, 大内長七 (電波研平磯)
 52. フェーズド・アレイによる太陽バーストの観測: 大川 徹, 岡 律夫, 丸山 忠, 横山哲弘, 大師堂経明 (早大教育), 長根 潔, 平林 久 (東京天文台)
 53. マイクロ波リム・バーストの性質: 中島 弘 (東京天文台)
 54. III 型バーストの数値シミュレーション: 高倉達雄 (東大理)
 55. 電子プラズマ振動に関連した太陽電波 III 型バーストと太陽粒子・衝撃波との相関性: 菊地 弘*,**, D. A. Gurnett*, E. Keppler**, A. K. Richter**, R. Schwenn** (* アイオワ大学, ** マックスプランク研)
 56. 大振幅変動を示す電波・硬 X 線バースト: 甲斐敬造*, S. R. Kane**, 鯉目信三***, 小杉健郎* (* 東京天文台, ** カリフォルニア大, *** 名大空電研)
 57. γ 線バーストと 35 GHz バーストの相関: 河鱈公昭, 小川英夫 (名大理), E. L. Chupp, J. M. Ryan (Univ. New Hampshire)
- (休 憩)
58. 科学衛星「ひのとり」の概要: 近藤一郎 (宇宙線研) 他「ひのとり」観測チーム
 59. 「ひのとり」SXT, HXM による硬 X 線観測: 大木健一郎 (東京天文台), 常田佐久, 高倉達雄, 新田就亮 (東大理), 小田 稔, 小川原嘉明, 村上敏夫, 牧島一夫 (東大宇宙研), 渋谷暢孝 (東京天文台), 宮本重徳 (阪大理), 他「ひのとり」観測チーム
 60. 「ひのとり」によるフレア硬 X 線二次元像の観測: 常田佐久, 大木健一郎*, 高倉達雄, 小川原嘉明†, 村上敏夫†, 牧島一夫†, 近藤一郎**, 渋谷暢孝*, 新田就亮, 小田 稔†, 宮本重徳†† (東大理, * 東京天文台, † 宇宙研, ** 宇宙線研, †† 阪大理)
 61. 「ひのとり」HXM による硬 X 線スペクトルの観測: 新田就亮 (東大理), 大木健一郎 (東京天文台), 常田佐久, 高倉達雄 (東大理), 小田 稔, 小川原嘉明, 村上敏夫, 牧島一夫 (東大宇宙研), 渋谷暢孝 (東京天文台), 宮本重徳 (阪大理), 他「ひのとり」観測チーム
 62. 「ひのとり」による太陽ガンマ線の観測: 吉森正人, 奥平清昭, 平島 洋 (立大理), 近藤一郎 (東大宇宙線研)
 63. 「ひのとり」によるフレア軟 X 線スペクトル: 和気 泉, 井上一, 大橋隆哉, 小山勝二, 田中靖郎, 前 孝司, 松岡 勝 (東大宇宙研)
 64. 「ひのとり」による軟 X 線鉄輝線スペクトルの観測 (I): 田中捷雄, 渡辺鉄哉, 西 恵三, 守山史生, 宮崎英昭, 熊谷収可 (東京天文台), 秋田 亨 (東大理), 「ひのとり」観測チーム
 65. Photographic Observation of AFGL Sources in Cygnus: S. D. ヴィラミナルジャ, 大谷 浩, 高柳和智* (京大理, 竜谷大*)
 66. α Tau 星食の高時間分解能測光観測: 田中 済, 渡辺鉄哉*, 相馬 充 (東大理, * 東京天文台)
 67. 晩期 A 型星大気におけるブランケット効果: 竹田洋一 (東大理)

第2日 5月12日 午後1時15分より

68. 21 Peg (B9.5 V) と HR 7338 (A0 III) の化学組成: 定金晃三 (大阪教育大)
69. Mn-Hg 星における Ga の化学組成: 高田昌英 (東大理), 寿岳 潤 (東京天文台)
70. プロキオンの細密分光解析: 加藤賢一 (大阪電気科学館), 定金晃三 (大阪教育大)
71. CN 輪郭の判別による炭素星の $^{12}\text{C}/^{13}\text{C}$ 比について: 藤田良雄 (東海大)
72. EW Lac の特異な V/R 変化について: 小暮智一 (京大理), 鈴木雅一 (金工大), 麻田佳明, 一本 潔 (京大理)
73. 紫外超過 (KUV) 天体の低分散スペクトル: 近藤雅之, 野口 猛, 前原英夫 (東京天文台)
74. He-rich 星の $H\alpha$ 輝線について: 中島隆三 (東北大)
75. 惑星状星雲中心星 (?) M 1-2: 中桐正夫, 岡崎 彰 (東京天文台), 山崎篤磨 (東大教養)
76. ミラの吸収線弱体化現象 (Line Weakening): 山下泰正, 前原英夫, 乗本祐慈 (東京天文台)
77. M 型巨星スペクトルの定量解析 (II) CNO 組成: 辻 隆 (東京天文台)
78. 短周期非接触型連星 (I) GR Tau: 山崎篤磨 (東大教養), 岡崎 彰, 北村正利 (東京天文台)
79. 短周期非接触型連星 (II) UU Lyn: 岡崎 彰, 北村正利 (東京天文台), 山崎篤磨 (東大教養)
- (休憩)
80. アルゴルの三色測光 (II): 阪本ひろ子, 下田真弘 (東京学芸大)
81. 収縮星 YY Ori, DR Tau の国際連続観測: 清水 実, 磯部秀三 (東京天文台), M. Walker (Lick 天文台), I. Appenzeller, B. Wolf (Heidelberg 天文台)
82. フレア星の活動領域セクタの変化: 小平桂一 (東大理), 市村喜八郎 (東京天文台)
83. 恒星の自転速度カタログについて: 上杉 明 (京大理), 福田一郎 (金沢工大)
84. 連星における emitting disk の半径について: 川畑周作 (京都学園大)
85. 二重周期セファイドの振幅変動: 相川利樹 (東北大)
86. 典型的ケフェイドの共鳴理論: 竹内 峯, 相川利樹 (東北大)
87. β -Cephei 型星の脈動安定性: 李 宇珉, 尾崎洋二 (東大理)
88. Minimum Flux Corona Model の有効性: 中田典規 (東北大), 竹内 峯 (東北大)
89. セファイド帯より高温側の星の非動径振動: 柴橋博資, 尾崎洋二 (東大理)
90. 恒星自転の熱不安定性の非線型効果: 尾崎洋二 (東大理)
91. 近接連星系の進化計算—Case A の進化: 中村誠臣, 中村泰久 (東北大)

第3日 5月13日 午前9時より

92. 中質量星の主系列進化: 梅津 実, 有本信雄 (東北大)
93. 磁気斜回転体の作る電磁場 (IV) 星風理論: 鎌木 修 (東北大)
94. 星風を持つ星の磁気圏: 柴田晋平, 鎌木 修 (東北大)
95. 赤色巨星の表面对流層の深さに及ぼす混合距離の影響: 有本信雄, 中村誠臣 (東北大)
96. 3次元ポリトロップの平衡形状について: 蜂巢 泉 (京大工), 江里口良治, 杉本大一郎 (東大教養)
97. 3次元一様回転流体の重力平衡形状: 江里口良治 (東大教養), 蜂巢 泉 (京大工), 杉本大一郎 (東大教養)
98. 水素殻フラッシュの極限サイクルについて: 安富 允 (名大理), 宮路茂樹, 杉本大一郎 (東大教養)
99. 超巨大質量星中の星の mass loss: 加藤万理子 (立教理)
100. 一定圧力下における速い α - p 過程: 橋本正章 (早大理工), 花輪知幸 (東大理), 杉本大一郎 (東大教養)
101. 中性子星表面でのヘリウム殻燃焼: 花輪知幸 (東大理), 杉本大一郎 (東大教養)
102. 高温, 高密度の状態方程式 (II): 荒井賢三, 上西啓祐 (熊本大理)
- (休憩)
103. ニュートリノ縮退と中性子星物質: 小笠原隆亮, 佐藤勝彦 (京大理)
104. 強重力場の音速への効果について: 石塚俊久, 高原和子 (茨大理)
105. 重力波の重力崩壊: 観山正見 (京大理)
106. Kerr 時空内におけるスピンをを持った粒子による重力波の発生: 前田恵一 (京大理)
107. X線パルサー; A 0535+26 の観測: 長瀬文昭, 早川幸男, 国枝秀世, 榎野文命, 政井邦明, 田原 譲 (名大理), 井上 一, 河合誠之, 小山勝二, 牧島一夫, 松岡 勝, 村上敏夫, 小田 稔, 小川原嘉明, 大橋隆哉, 柴崎徳明, 田中靖郎 (東大宇宙研), 宮本重徳, 常深 博, 山下広順 (阪大理), 近藤一郎 (東大宇宙線研)

108. MXB 1636-53 からのX線バーストの観測: 大橋隆哉, 井上 一, 小山勝二, 牧島一夫, 松岡 勝, 村上敏夫, 小田 稔, 小川原嘉明, 柴崎徳明, 田中靖郎 (東大宇宙研), 近藤一郎 (東大宇宙線研), 早川幸男, 国枝秀世, 榎野文命, 政井邦昭, 長瀬文昭, 田原 譲 (名大理), 宮本重徳, 常深 博, 山下広順 (阪大理)
109. X線バーストの光とX線の同時観測: 松岡 勝, 井上 一, 小山勝二, 牧島一夫, 村上敏夫, 小田 稔, 小川原嘉明, 大橋隆哉, 柴崎徳明, 田中靖郎 (東大宇宙研), 近藤一郎 (東大宇宙線研), 早川幸男, 国枝秀世, 榎野文命, 政井邦昭, 長瀬文昭, 田原 譲 (名大理), 宮本重徳, 常深 博, 山下広順 (阪大理), H. Pedersen (ESO), W. Lewin (MIT)
110. ラビッド・バースターの 0.5 秒 oscillation の発見: 田原 譲, 早川幸男, 国枝秀世, 榎野文命, 長瀬文昭, 政井邦明 (名大理), 井上 一, 小山勝二, 牧島一夫, 松岡 勝, 村上敏夫, 小田 稔, 小川原嘉明, 大橋隆哉, 柴崎徳明, 田中靖郎 (東大宇宙研), 近藤一郎 (東大宇宙線研), 宮本重徳, 常深 博, 山下広順 (阪大理)
111. X線ラビッド・バースターの電波観測: 大師堂経明, 岡 律夫*, 大川 徹, 丸山 忠*, 横山哲弘 (早大教育) (* 日立コンピューター・エンジニアリング)
112. GX 349+2: 153 秒 Pulsation の発見: 柴崎徳明, 満田和久, 牧島一夫 (東大宇宙研)

第3日 5月13日 午後1時15分より

113. Vela X-1 からのX線フレアー (II): 常深 博, 宮本重徳, 山下広順 (阪大理), 井上 一, 小山勝二, 牧島一夫, 松岡 勝, 村上敏夫, 小田 稔, 小川原嘉明, 大橋隆哉, 柴崎徳明, 田中靖郎 (東大宇宙研), 近藤一郎 (東大宇宙線研), 早川幸男, 国枝秀世, 榎野文命, 政井邦明, 長瀬文昭, 田原 譲 (名大理)
114. Vela X-1 のパルス周期の変化: 小川原嘉明, 井上 一, 河合誠之, 小山勝二, 牧島一夫, 松岡 勝, 村上敏夫, 小田 稔, 大橋隆哉, 柴崎徳明, 田中靖郎 (東大宇宙研), 早川幸男, 国枝秀世, 榎野文命, 政井邦昭, 長瀬文昭, 田原 譲 (名大理), 宮本重徳, 常深 博, 山下広順 (阪大理), 近藤一郎 (東大宇宙線研)
115. 「白鳥」による Slow Burster の観測: 津野克彦, 宮本重徳, 常深 博, 山下広順 (阪大理), 井上 一, 小山勝二, 牧島一夫, 松岡 勝, 村上敏夫, 小田 稔, 小川原嘉明, 大橋隆哉, 柴崎徳明, 田中靖郎 (東大宇宙研), 早川幸男, 国枝秀世, 榎野文命, 政井邦昭, 田原 譲 (名大理), 近藤一郎 (東大宇宙線研)
116. 種々の波形のX線バーストの成因: 宮本重徳 (阪大理)
117. 銀河中心付近のバーストの解釈と問題点: 井上 一, 小山勝二, 牧島一夫, 松岡 勝, 村上敏夫, 小田 稔, 小川原嘉明, 大橋隆哉, 柴崎徳明, 田中靖郎 (東大宇宙研), 近藤一郎 (東大宇宙線研), 早川幸男, 国枝秀世, 榎野文命, 政井邦昭, 長瀬文昭, 田原 譲 (名大理), 宮本重徳, 常深 博, 山下広順 (阪大理)
118. かに星雲の硬X線での形状とその解釈: 牧島一夫, 小川原嘉明, 小田 稔 (東大宇宙研), 宮本重徳 (阪大理), L. E. Peterson, R. M. Pelling (カリフォルニア大)
119. SS 433 の光度変化の観測 (1980年): 高岸邦夫 (宮崎大工), 寿岳 潤 (東京天文台), 榮楽正光, 松岡 勝 (東大宇宙研)
120. “EINSTEIN” 衛星による小マゼラン雲の観測 (II): 田中靖郎, 井上 一, 小山勝二, 松岡 勝, 大橋隆哉 (東大宇宙研), 寿岳 潤 (東京天文台), 山下広順 (阪大理)
121. クェーサーのX線放射——サイクロトロン高調波のコンプトン化: 高原文郎 (京大基研), 一丸節夫 (東大理), 鶴田幸子 (モンタナ大)
122. 大型宇宙電波望遠鏡 (III): 森本雅樹, 赤羽賢司, 石黒正人, 稲谷順司, 井上志津代, 井上 允*, 海部宣男, 神沢富雄, 田中春夫, 近田義広, 東条 新, 長根 潔, 秦 茂, 長谷川哲夫, 平林 久, 宮沢敬輔, 宮地竹史 (東京天文台) (* 東大理)
123. 大型宇宙電波望遠鏡 (IV)——計算機システム: 近田義広, 石黒正人, 平林 久, 宮地竹史, 神沢富雄, 森本雅樹 (東京天文台), 井上 允 (東大理)
124. 電波屈折率の一様性 (短距離地上大気): 赤羽賢司, 秦 茂 (東京天文台)
125. 野辺山の地温および気象観測: 秦 茂, 東条 新, 赤羽賢司 (東京天文台)
126. 人工衛星群が電波天文観測に与える影響: 平林 久, 田中春夫, 森本雅樹 (東京天文台)

第4日 5月14日 午前9時より

127. 160 MHz 太陽電波干渉計の改修: 川島 進, 中島 弘, 関口英昭, 沢 正樹, 桑原龍一郎 (東京天文台)

128. 超解像とその限界——実用的な 1 つの試み: 小杉健郎 (東京天文台)
129. 波長 8 cm 電波太陽写真儀の実時間像合成化について: 西尾正則, 鯨目信三, 柴崎清登, 森田耕一郎 (名大空電研)
130. 静止衛星電波を用いた干渉計の位相較正: 鯨目信三 (名大空電研)
131. 広視野フェーズド・アレイの試作 (Ⅲ): 横山哲弘*, 岡 律夫*, 大川 徹, 丸山 忠*, 大師堂経明 (早大教育) (* 日立コンピューター・エンジニアリング), 長根 潔, 平林 久 (東京天文台)
132. 超合成アレイの評価法: 森田耕一郎 (名大空電研), 石黒正人 (東京天文台)
133. 1.5 mφ CO 電波望遠鏡システムの改良: 石井孝一, 小平真次, 中村 強 (木更津高専)
134. 1.5 m 短ミリ波望遠鏡 (I) 光学系: 加藤龍司, 小川英夫, 河鱈公昭, 川辺良平, 祖父江義明, 鷹野敏明, 林良一, 福井康雄 (名大理)
135. 1.5 m 短ミリ波望遠鏡 (II) 駆動制御系・分光系: 鷹野敏明, 小川英夫, 河鱈公昭, 川辺良平, 加藤龍司, 祖父江義明, 林良一, 福井康雄 (名大理)
136. 高精度, 軽量反射鏡の製作: 佐藤修二, 小林行泰, 川良公明, 奥田治之 (京大理)
137. 軽量反射鏡の試作と低温テスト: 林 正彦, 水谷英夫, 田辺俊彦, 中田好一 (東大理), 坂田 朗 (電通大), 富田弘一郎 (東京天文台), 池谷 薫 (池谷光研)
- (休 憩)
138. 東京天文台のレーザ測距観測の現況: 小林信夫, 鳥居泰男, 平山智啓, 神田 泰, 中村 士, 佐藤英男, 富田弘一郎, 土屋 淳, 古在由秀 (東京天文台)
139. 月レーザ受信望遠鏡を用いた天体赤外線観測装置: 大島紀夫, 磯部秀三, 富田弘一郎, 平山智啓, 斉藤馨児 (東京天文台), 舞原俊憲, 川良公明 (京大理), 直井雅文 (東京学芸大)
140. 遠隔探査画像に対する大気効果の除去: 上野季夫 (金沢工大)
141. IDARSS のテスト観測: NGC 1068: 谷口義明, 柴田克典, 石井久司, 有本信雄, 田村眞一 (東北大理)
142. 多色偏光測光装置用 TV ガイド装置: 山口達二郎, 柴崎 肇, 野口本和, 菊池 仙, 三上良孝 (東京天文台), 昆野正博 (東大理)
143. 東京天文台の PDS マイクロデンストメーター: 野口 猛, 辻 隆, 家 正則, 宮内良子 (東京天文台)
144. PSS プリント紙による位置測定精度: 田原博人 (宇都宮大教育), 井上 允 (東大理), 野口 猛 (東京天文台)
145. 液体ヘリウム冷却の飛翔体実験への応用: 野口邦男, 早川幸男, 松本敏雄, 村上 浩, 水野智久 (名大理), 村上正秀 (筑波大), 永野 弘 (東大物性研), 宇山喜一郎 (宇宙研)
146. Hadamard X-ray Spectrometer: 戎崎俊一 (東大理), 清水 祥, 村井秀夫, 常深 博 (阪大理), 藤田由紀夫 (気象庁)
147. 測地学・地球物理学に用いる国内及び国際 VLBI 網の配置: 藤下光身 (緯度観測所)

第 4 日 5 月 14 日 午後 1 時 15 分より

148. VLBI における観測スケジュールの考察: 吉野泰造, 高橋富士信, 小池国正, 村上秀俊 (電波研鹿島)
149. VLBI 実験用 IF 帯雑音シミュレータ: 黒岩博司, 川口則幸 (電波研鹿島), 小花利一郎 (R & K)
149. K 3-VLBI のコヒーレントロス解析: 川口則幸, 黒岩博司 (電波研鹿島)
151. 非線形調和解析法とその暦への応用: 福島登志夫 (水路部)
152. 恒星文献索引の新検索システム (CIR-BSI): 西村史朗 (東京天文台)
153. 暗黒星雲 Khavtassi 141 における若い星: 富田良雄, 大谷 浩 (京大理)
154. W 44 領域の低温中性水素雲: 佐藤文男 (千葉県教育センター), 福井康雄 (名大理), 長谷川哲夫 (東京天文台)
155. Simple H II Regions の表面輝度測光: 水野 舜 (金沢工大), 作花一志 (京都コンピュータ学院), 佐々木敏由紀, 小暮智一 (京大理)
156. W 51 付近の ^{12}CO (2.6 mm) 雲 Survey 1: 中村 強, 石井孝一, 小平真次 (木更津高専), 大石雅寿 (東大理), 稲谷順司 (東京天文台)
157. 1.5 m 短ミリ波望遠鏡による CO 高分散観測: 福井康雄, 小川英夫, 河鱈公昭, 川辺良平, 加藤龍司, 祖父江義明, 鷹野敏明, 林 良一 (名大理)
158. High-Velocity HI Jet at $(l, b) = (197^\circ, +2^\circ)$: 渡辺 堯 (名大空電研)

159. オリオン星雲の近赤外表面測光: 村上 浩, 小泉 裕, 松本敏雄, 水野智久, 野口邦男 (名大理), 佐藤修二 (京大理)
- (休 憩)
160. オリオン領域の HCO^+ 観測 (Ⅲ): 面高俊宏 (杏林大), 長谷川哲夫, 稲谷順司, 海部宣男 (東京天文台), 浮田信治 (IRAM)
161. オリオン星雲に広がる 2μ 赤外線源: 磯部瑠三, 富田弘一郎, 斉藤馨児, 大島紀夫, 平山智啓 (東京天文台), 舞原俊憲, 川良公明 (京大理), 直井雅文 (東京学芸大)
162. NGC 7822 のブライツ・リム (I) HCO^+ の観測: 長谷川哲夫 (東京天文台), 面高俊宏 (杏林大)
163. 惑星状星雲 M 1-9 の化学組成の確認: 柴田克典, 田村眞一, 谷口義明 (東北大理)
164. 超新星放出物質中の発光衝撃波 (Ⅱ): 伊藤 裕 (京大理)
165. 炭素系微粒子の遠赤外吸収測定: 田辺俊彦, 中田好一, 上條文夫 (東大理)
166. Hydrous Silicates の遠赤外スペクトル: 小池千代枝 (京都薬大), 長谷川博一 (京大理), 服部武志 (阪大工)
167. 炭素質物質の生成過程: 和田節子, 奥津佳之, 坂田 朗 (電通大), 中田好一 (東大理)
168. Carbon rich star の励起化学種と分子生成: 坂田 朗, 吉川 久, 和田節子 (電通大), 稲吉 彰, 中田好一 (東大理)
169. 分子雲における元素の消失 (Depletion) について: 鈴木博子 (京大理)
170. 原始星中での宇宙線 flux とガスの電離率: 梅林豊治, 中野武宣 (京大理)
171. 磁気星間雲の準静的収縮 (Ⅲ): 中野武宣 (京大理)
172. 回転している星間雲の重力収縮: 成田真二 (同志社大工), D. McNally, G. L. Pearce, S. A. Sørensen (U.C. London)

第 5 日 5 月 15 日 午前 9 時より

173. 白色矮星の空間数密度の推定について: 石田蕙一, 三上孝雄, 野口 猛, 前原英夫 (東京天文台)
174. 銀河北極方向における faint star の密度分布: 吉井 謙 (東北大理)
175. 対物プリズムのスペクトルを数値分類する試み: 乗本祐慈, 石田蕙一 (東京天文台)
176. 近赤外輻射に寄与する星の種類: 三上孝雄 (東大理), 石田蕙一, 浜島清利 (東京天文台), 川良公明 (京大理)
177. Perseus arm 方向の銀河構造について: 仲野 誠, 小暮智一 (京大理)
178. ロケットによる近中間赤外銀河光の観測: 水野智久, 早川幸男, 松本敏雄, 村上 浩, 野口邦男 (名大理), 宇山喜一郎 (東大宇宙研)
179. 赤外線による銀河面のサーベイ (VI) ($l=45^\circ\sim 350^\circ$): 川良公明, 小笹隆司, 小林行泰, 佐藤修二, 奥田治之 (京大理), 寿岳 潤 (東京天文台)
180. 銀河系中心の近赤外気球観測 (Ⅱ): 小泉 裕, 早川幸男, 松本敏雄, 村上 浩 (名大理), 山上隆正, 宇山喜一郎 (東大宇宙研), J. A. Thomas (メルボルン大)
181. 銀河中心領域の赤外偏光観測 (Ⅱ) 拡散成分: 小林行泰, 佐藤修二, 舞原俊憲, 奥田治之 (京大理), 寿岳 潤 (東京天文台)
182. 二相星間ガスの銀河衝撃波: 土佐 誠 (名大理)
183. NGC-253 の近赤外観測 (Ⅱ): 宇山喜一郎 (東大宇宙研), 松本敏雄 (名大理), J. A. Thomas (メルボルン大)
- (休 憩)
184. 銀河初期に於ける C, O, Fe の組成進化: 大道 卓 (東北大理)
185. Dynamical Evolution of Two-Component Stellar Systems: P. Wiyanto and S. Inagaki (京大理)
186. 恒星系円盤の非線型大局的安定性: 西田実継 (京大理)
187. 恒星円盤の大局的安定性: 藤原隆男 (京大理)
188. 非軸対称重力場による渦状腕形成: 松田卓也, 沢田恵介, 猪坂 弘 (京大工)
189. 円盤状銀河の Shear する大局モード: 植田龍男 (東大理), 家 正則 (東京天文台), 野口正史 (東大理), 青木信仰 (東京天文台)
190. 偏平銀河の動径振動: 宮本昌典, 石井 久 (東京天文台)
191. M 87 の 2 成分モデル: 岡崎教男, 稲垣省五 (京大理)

192. LMC の近赤外気球観測 (II): 早川幸男, 松本敏雄, 村上 浩, 小泉 裕 (名大理), 宇山喜一郎, 山上隆正 (宇宙研), J. A. Thomas (メルボルン大)
193. M 31 のディスクの近赤外表面輝度分布: 廣本宣久, 舞原俊憲, 小田直樹, 奥田治之 (京大理)

第5日 5月15日 午後1時15分より

194. M 31 の HI gas と光学データとの相関: 中井直正, 祖父江義明 (名大理)
195. M 31 の HI disk の bending: 沢 武文 (愛知教育大), 中井直正, 祖父江義明 (名大理)
196. NGC 4254 の非対称渦状構造: 家 正則, 岡村定矩 (東京天文台), 浜部 勝, 渡辺正明 (東大理)
197. S 型銀河の Diffuse X 線の光度と銀河風: 富阪幸治, 池内 了 (北大理)
198. NGC 1068 における輝線分布 (II): 西村雅樹, 外山清高, 兼古 昇 (北大理)
199. セイファート銀河の中心核光: 兼古 昇, 山本将史, 橋場 孝 (北大理), 大野陽朗 (札商大)
200. Hot Gaseous Halo of a Disk Galaxy. II. Effects of Intergalactic Matter: 羽部朝男, 池内 了 (北大理)
201. 木曾紫外超過銀河の形態およびスペクトル: 高瀬文志郎, 野口 猛, 前原英夫 (東京天文台)
202. Arakelian 120 の爆発: 西田 稔 (京大理), 寿岳 潤 (東京天文台)
203. Abell クラスタ一中の電波源の同定: 井上 允 (東大理), 田原博人 (宇都宮大教育)
204. Abell 1553 と MKW 銀河団の光度関数: 山縣朋彦 (東大理), 前原英夫, 岡村定矩, 高瀬文志郎 (東京天文台)
205. へびつかい座銀河団の大発見: 若松謙一 (岐阜大), M. A. Malkan (パロマー天文台)
- (休 憩)
206. シェパバジアン・コンパクト銀河団の電波観測: 祖父江義明 (名大理)
207. 高温銀河間ガスの密度の上限: 池内 了 (北大理), J. P. Ostriker (プリンストン大学)
208. コマ銀河団の X線源とミッシングマス: 田中一尚, 藤島康夫, 藤本光昭 (名大理)
209. Super Cluster 的ガス分布の観測可能性: 田中 裕 (京大理)
210. 円盤銀河の楕円構造の軸比・位置角: 水野孝雄 (東京学芸大教育), 浜島清利 (東京天文台)
211. 円盤状銀河の大局的構造: 浜部 勝 (東大理)
212. 厚い降着円盤での時間変動的降着: 加藤正二 (京大理)
213. 偏平な円盤銀河の力学 (II): 会津 晃 (立教大理)
214. 回転星の一般相対論的重力崩壊: 中村卓史 (京大基研)
215. 宇宙論的真空の相転移と磁気単極子の生成: 佐藤勝彦 (京大理), M. B. Einhorn (ミシガン大学)
216. 宇宙初期の真空の一次相転移による時空の虫食い穴の生成: 佐々木 節, 佐藤勝彦, 小玉英雄, 前田恵一 (京大理)
217. ニュートンの運動方程式の拡張 (VII): 銀河の渦状構造の成因: 全 驥在